

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 3 年 11 月 26 日 (17:00~19:00)

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 11 人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0	7	3	0	11

前回の改善計画	ご利用開始時に情報をしっかりと収集し、統一したケアが実施できるよう、ご利用者様・ご家族様の不安を受け止め、関係作りに配慮できる環境を整える。
前回の改善計画に対する取組み結果	ご利用者様の不安を聞き出せるよう寄り添い、関係作りに努め情報を共有できるように申し送りや管理日誌で伝達できている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	0	7	3	1	11
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	2	6	3	0	11
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	1	8	2	0	11
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	5	5	1	0	11

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
利用開始前や開始時、カルテや管理日誌・計画書を確認し、職員で話し合う機会を作っている。また、新規ご利用時にはなるべく声掛けをするようにし、困っていること等話しやすい関係作りに努めている。ご本人の緊張が少しでも解ける様、表情や行動をよく観察するために関わりを多く持つようにしている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
事前の情報が少なく、ご家族様との関わりが短時間 (送迎時も短時間となっている) のため、コミュニケーションがとれておらず関係づくりができ辛い。忙しい時等言葉遣いが雑になることがあり関係作りに支障をきたしているのではと思うことがある。管理日誌やカルテから情報を熟読できておらず抜け落ちていたことがある。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
各自意識を持って抜け落ちないように心がけ、申し送りや部会を活用し、定期的にスタッフ同士で声掛けを行う。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 3 年 11 月 26 日 (17:00~19:00)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 11 人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0	5	5	1	11

前回の改善計画	
関わりを持つ時間が増やせるよう、業務の見直しを行う。	
前回の改善計画に対する取組み結果	
関わりを持つ機会は増えているが、業務の見直しは少しのみしかできなかった。	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	0	5	5	1	11
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	0	3	8	0	11
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	0	3	8	0	11
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	0	2	9	0	11

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
『～したい』に対しては何かできる事を提供できるよう考えながら対応している。また、部会等で話し合いの場を設け情報共有している。また、本人の思いを聞くためにオープンクエスチョンで会話するよう心掛けている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
中には『ゴール』や『～したい』がわかっていない場合もあり意識していない時もある。部会で発言できていないスタッフもいる。また業務の見直しができておらず、振り返りや次の対応ができていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
業務の改善点あればその都度話し合いをし、部会で振り返り・次の対応をしていく。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年11月26日(17:00~19:00)

3. 日常生活の支援

メンバー 11人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2	6	2	1	11

前回の改善計画	ご利用者様の声にならない声を汲み取れるよう、スタッフ一人ひとりが意識を持ち、ご利用者様の些細な変化にも気付けるよう情報収集し共有するようにする。
前回の改善計画に対する取組み結果	ご利用者様の些細な変化にも気づき、臨機応変に介助方法を変更できるようになってきているが、以前の暮らしの把握が薄い。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	2	6	2	1	11
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	0	1	3	7	11
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	2	8	1	0	11
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	1	4	5	1	11
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	1	9	1	0	11

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
ご利用者様の変化に気付けるよう心掛けており小さな変化も気付けるようにしている。食事・排泄等状態によって介助方法を臨機応変に変更しており、申し送りや部会で報告と情報共有している。一人ひとりのADLを把握し低下させないよう自立支援を心掛けている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
以前の暮らしが把握できていない。ミーティングでの言語化はできていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
以前の暮らしについて10個把握するためには初期の段階だけでは聞き出すことが難しい場合もあるので、管理者やケアマネだけでなく送迎や関わりを持った際、初めて聞くことがあればカルテに記載し、スタッフ全員が把握できるよう努める。また積極的にご利用者様に聞く。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 3 年 11 月 19 日 (17:00~19:00)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 11 人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	0	2	1	8	11

前回の改善計画	ご利用者様の地域の自治会・民生委員・地域包括センターへ積極的に声掛けを行い、地域との関わりを継続して保てるようにする。
前回の改善計画に対する取組み結果	運営推進会議に職員も参加、地域の自治会の方々にも防災訓練にも参加頂き、地域との関わりを深める機会ができた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	0	2	1	8	11
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	0	2	4	5	11
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	1	1	4	5	11
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	0	2	1	8	11

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
送迎時や外に出た際、ご近所の方にあつた際は挨拶をしている。 ご利用者様の生活スタイルを尊重しながら必要な支援を検討し、ご利用者様主体の介護を心掛けている。 自治会や民生委員の方と交流する機会があつた。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
生活スタイルの把握が甘い。ご利用者様の地域との関わりについては把握できていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
訪問理美容の利用は家でいけない方に受けて頂き、行きつけのお店がある方はそこに継続して行って頂き、地域との関わりを絶たないようにする。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年11月26日(17:00~19:00)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 11人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	1	1	4	5	

前回の改善計画	地域の社会資源とは?をスタッフで理解できるよう部会等で勉強会を開催する。
前回の改善計画に対する取組み結果	地域の社会資源について深く勉強会として実施することができなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	0	1	4	6	11
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	0	11	0	0	11
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができますか?	2	7	1	1	11
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	3	8	0	0	11

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
コロナ禍でも地域資源の活用で地域の店でテイクアウトを利用しご利用様に食事の提供ができた。資源等について部会で話し合いをしている。適宜、変化のあった際はスタッフ間で必要な情報を共有しており、ご利用者様・ご家族様の状況に合わせてサービスを変更している。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
地域資源を使っでの支援があまりできておらず、勉強会も行えていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
地域の社会資源について(大きく姫路市内と佐良和地域のもの)をスタッフが調べ、部会で発表してもらい勉強会とする。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 3 年 11 月 26 日 (17:00~19:00)

6. 連携・協働

メンバー 11 人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0	5	1	5	11

前回の改善計画	コロナ禍でも対策をしっかりと取った上で地域との関わりを深められるよう、スタッフも会議に参加出来る機会を設けるよう努める。
前回の改善計画に対する取組み結果	運営推進会議に職員が順次参加できた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関 (医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所) との会議を行っていますか?	0	5	0	6	11
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	0	4	1	6	11
③	地域の各種機関・団体 (自治会、町内会、婦人会、消防団等) の活動やイベントに参加していますか?	0	3	3	5	11
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	0	0	3	8	11

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
防災訓練を通じて地域の自治会も参加があった。運営推進会議に職員数名が参加できた。会議に参加する機会はある。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
コロナ禍で緊急事態宣言発令もあり、以前のようなイベント (夏まつりや地域の秋祭り) が開催されなかった。また登録者以外の訪問も難しい状況。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
防災訓練には地域住民の参加、自治会の参加の声掛けを継続して行う。また、運営推進会議にも順番に職員に参加してもらう。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 3 年 11 月 19 日 (17:00~19:00)

7. 運営

メンバー 11 人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0	8	0	3	11

前回の改善計画	意見や苦情を反映できるよう、日々の申し送りや毎月の部会で共有し、改善できる糸口をスタッフ全員で考える。コロナ禍でも地域との関わりが出来るよう、地域への発信を行っていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	意見や苦情に関しては申し送りや部会で共有しているが、同じミスが続くことがあり、スタッフ全員に浸透していない部分があった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか?	1	5	2	3	11
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	1	8	1	1	11
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	1	7	0	3	11
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	0	4	4	3	11

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
苦情・意見等については部会等でスタッフの共有ができており、緊急性のある場合は即時話し合いをし共有するようにしている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
発生時に休みだったり申し送りを確認しても忘れていくことがある。同じ苦情が数回続くことがある。コロナ禍で地域と協働・交流がほとんどできなかった。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
同じ苦情が続く際は、該当スタッフに聞き取り調査をし、同じミスを繰り返さないようにスタッフ全員で認識する。地域でのイベント等があれば参加・交流できるかコロナの情勢に合わせて検討していく。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 3 年 11 月 19 日 (17:00~19:00)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 11 人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	4	4	0	3	11

前回の改善計画	研修案内 (法人内外) をスタッフへ案内し、参加できる機会を設ける。(WEB参加できるものは進んで参加できるよう配慮する)
前回の改善計画に対する取組み結果	法人外の認知症研修や安心サポーター養成講座、リーダー研修 (すべてWEB講座) に職員が進んで参加したいと申し出あり、研修への意識づけはできてきている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修 (職場内・職場外) を実施・参加していますか	5	3	0	3	11
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	3	4	0	4	11
③	地域連絡会に参加していますか	0	2	1	8	11
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	1	5	1	4	11

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
研修に参加する機会が多くあり、コロナ禍でもWEB等スタッフも参加できるように取り組んでいる。また自身にとって必要な研修は参加している。リスクマネジメントに取り組んでいると思う。法人外の研修にも参加できた。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
地域連絡会には参加していない。受けた研修があまりなかった。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
継続して研修案内をスタッフへ出し、参加できるよう勤務調整等行っていく。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 3 年 11 月 26 日 (17:00~19:00)

9. 人権・プライバシー

メンバー 11 人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	4	4	2	1	11

前回の改善計画
身体拘束・虐待についての勉強会を開催 (年 2 回予定) で、職員一同再確認を行う。

前回の改善計画に対する取組み結果
身体拘束について年 2 回の研修はしっかりとできている。また、成年後見制度を活用しているご利用者様もあり、成年後見について知識を深める機会があった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	5	4	1	1	11
②	虐待は行われていない	8	3	0	0	11
③	プライバシーが守られている	5	6	0	0	11
④	必要な方に成年後見制度を活用している	4	4	0	3	11
⑤	適正な個人情報の管理ができている	6	5	0	0	11

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
勉強会で職員一同再確認でき、研修にも参加し知識の幅が広がった。身体拘束については部会等で検討会をしている。個人情報や申し送りメモはシュレッターをかけるようにしている。必要なご利用者様に成年後見制度を活用できている。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
排泄介助時の声掛けが大きくなってしまふことがあり、配慮できなかったことがある。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)
成年後見について理解できていないスタッフが数名おり、毎年部会で勉強会を開催しているが、継続して勉強会を実施していく。

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	姫路医療生活協同組合	代表者	荻野 俊夫	法人・事業所の特徴	「一人ひとりに寄り添う、地域に寄り添う」を理念に、ご利用者様には住み慣れた地域で気持ち良く過ごしていただけるよう、通い、泊り、訪問を柔軟に組み合わせたサービスを提供しています。また、平均的に介護度が高く、重度化・医療依存度が高くてもそちららしく、住み慣れた地域で最期まで過ごして頂けるようご支援させて頂いております。
事業所名	小規模多機能ホーム さろお	管理者	宮本 綾子		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	1人	3人	人	人	1人	人	2人	人	7人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	なし	なし	なし	なし
B. 事業所のしつらえ・環境	なし	なし	コロナ禍で誰でもすぐに入るのではなく感染防止として事業所に入ることを制限しており、現在は入りやすい状態にするのは難しい。	コロナ禍でも地域に出向き、事業所の情報発信媒体を配布。TELでも相談しやすい事業所としてアピールしていく。
C. 事業所と地域のかかわり	地域のイベント等情報収集に努め、感染対策をとり少人数で外出の機会を設ける。	緊急事態宣言やまん延防止等コロナの影響があり、外出は地域の買い物や神社への散歩等少人数での対応に限られた。が、地域の飲食店の持ち帰りで食事を楽しんで頂くことができた。	コロナ禍のため、イベントの参加は難しい。	コロナの情勢に合わせながらイベント等の情報収集に努め、地域で参加できるものには参加させて頂く。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	事業所ニュースを発行（毎月）し、ご利用者様・ご家族様・地域への発信を行う。	毎月、職員が発行した事業所ニュースをご利用者様へ配布できている。	なし	なし
E. 運営推進会議を活かした取組み	職員に順番に運営推進会議に参加できるよう計画し実行する。	運営推進会議には職員が順番に参加することができた。	なし	なし

F. 事業所の 防災・災害対策	地域の方の災害訓練の参加を検討し、実際の時を想定し、災害時の連携について連絡を取り合う方法や手段を深めていく。	2021年10月の避難訓練には自治会の方も参加して頂いた。また、防災担当の方ともお話をさせて頂くことができた。	地域の防災訓練に参加できていない。	地域の防災訓練等あれば参加させて頂く。
--------------------	---	---	-------------------	---------------------